【白井の子どもたちの様子】

〇朝食は、児童で81％、生徒は76％が毎日とっている。一方、就寝時刻については、決まった時刻に寝ている児童は、39％、生徒が26％であった。朝食をしっかりととることや就寝時刻が安定していることは、児童生徒の健康面に影響を及ぼす要素の一つである。今後も、自身の健康に意識するための健康教育や食育を家庭と連携して推進していく。

〇小中学校では、家庭学習の時間を全国平均より比較的多くとっていることが分かる。引き続き、家庭と連携しながら、家庭学習の大切さや計画的な学習について子どもたちだけでなく、保護者にも伝えていく。

〇小中学校においては、将来の夢や目標を持っている児童の割合が比較的高い割合を示している。今後もキャリア教育を充実させ、明るい未来を描ける児童生徒の育成に努めていく。

〇白井市の児童生徒の80％以上が自分を肯定的にとらえている。これからも、一人一人の子どもの活躍する場を確保し、自己肯定感・自己有用感を高めていくことを大切にしたい。

〇約80％の児童生徒がICT機器で文章を作成することやプレゼンテーションソフトを使って発表用スライドを作成することに肯定的な認識を持っている。今後も授業や調べもの、発表する場面や課題作成等、様々な場面でのICT機器のさらなる活用が期待される。